

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福井県小浜市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	「放生祭」を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第5次小浜市総合計画（平成23年策定）や小浜市・若狭町歴史文化基本構想（平成23年策定）を踏まえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、市民との協働により、文化財を活かした魅力的で小浜らしいまちづくりに取り組む。また本実施計画期間中は、下記の取組を通じて地域全体で文化遺産を保存・継承し活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>1. 文化遺産の保護継承（平成31年度まで行う） 2. 文化遺産の活用と普及啓発事業（平成31年度まで行う）</p> <p>さらに、市民生活に根づき伝えられてきた祭礼行事等の伝統文化や伝統芸能など保護・継承していくために関係団体や地域と連携し、「放生祭」を活かした地域活性化事業を実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>小浜市が本実施計画に係る全体計画の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会文化課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 産業部商工観光課：観光業務に関する連携等 企画部市民協働課：市民・団体・事業者・行政との連携等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。 放生祭祭礼委員会（会長：風呂繁明）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 13,577 千円	平成29年度申請額： 4,220 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>後継者育成と技の伝承・技術向上を目的とした各芸能の講習会の実施によって、地域の文化遺産継承活動への小浜地区民の参加率を高め、将来的な人材の底上げにもつながる。また、積極的に小浜放生祭をPRすることにより当祭礼への関心や意識が向上し、この祭礼が執り行われる小浜地区への観光客が増加することにつながる。それに加えて小浜市民は当祭礼が江戸時代から続く若狭を代表する祭礼であることに誇りをもっており、道具類の修理・新調を計画的に行うことで、後世に引き継いでいくための気運を高めることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
歴史文化基本構想は策定済み。歴史的風致維持向上計画の作成は今のところ予定なし。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	福井県小浜市教育委員会文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	小浜放生祭に関わる観光入込数			関連事業 :	次ページの②、④	
目標値 1 :	平成 27 年度 38,000 人 ⇒ 平成 31 年度 50,000 人					
設定根拠 1 :	まちの駅全体の入込数					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
38,000 人	27,000 人	人	人	人	人	
0%	-92%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	移築復原した市指定有形文化財「旭座」で行われる本 稽古の際の来館者数			関連事業 :	次ページの ②～④	
目標値 2 :	平成 28 年度 860 人 ⇒ 平成 31 年度 1,485 人					
設定根拠 2 :	平成28年5月開館した旭座での小浜放生祭本稽古への来館者数を参考にして、毎年度伸び率1.2倍と設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	860 人	人	人	人	人	
	0%					
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	小浜放生祭への子供の参加者数			関連事業 :	次ページの①、③、④	
目標値 3 :	平成 27 年度 210 人 ⇒ 平成 31 年度 240 人					
設定根拠 3 :	放生祭祭礼実施24地区の小学生から中学生までの人数を参考にして1.1倍と設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
210 人	190 人	人	人	人	人	
0%	-67%					
目標区分 4 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 4 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	旧料亭蓬嶋楼への入館者数			関連事業 :	次ページの②	
目標値 4 :	平成 27 年度 116 人 ⇒ 平成 31 年度 167 人					
設定根拠 4 :	旧料亭蓬嶋楼への祭礼期間中の入館者数を参考として、毎年度伸び率1.1倍と設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
116 人	40 人	人	人	人	人	
0%	-149%					

事業④：	「放生祭」を活かした地域活性化事業		実施団体：	放生祭祭礼委員会		
事業区分：	用具等整備		事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度		
事業概要：	県指定無形民俗文化財「小浜放生祭」を構成している山車（囃子）、獅子（三匹獅子舞）、神楽（太鼓）、棒振り太鼓、神輿等の祭礼道具の修理・修復・修繕・張替・新調を行う。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数				(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	平成28年5月開館した市指定有形文化財「旭座」で行われる本稽古の区民の来館者数を参考にして1.2倍と設定					
目標値：	平成 28 年度		860 人		⇒ 平成 31 年度 1,485 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	860 人	人	人	人	人	